

感染症定期報告（研究報告概要一覧表）

平成31年2月20日
（平成30年10月～平成30年12月受理分）

研究報告のまとめ方について

- 1 平成30年10月～平成30年12月までに提出された感染症定期報告に含まれる研究報告（論文等）について、重複している分を除いた報告概要一覧表を作成した。
- 2 概要の後に、個別の研究報告の詳細を添付した。

血液対策課資料(平成30年10月-12月)

感染症	出典	概要	番号	詳細版ページ
<肝炎ウイルス>				
E型肝炎	ProMED-mail 20181119.6153527	香港の56歳の男性において、世界で初めてヒトに感染するラットE型肝炎ウイルスが発見された。本ウイルスは、ラットにのみ存在することが知られており、ヒトに影響を及ぼす株とは大きく異なった肝炎ウイルスの株を本患者が保有していることが認められた。その後、1例目と同様の感染症が報告された。2例目の症例は、1例目の症例と同じ地域に住む高齢の女性患者であった。2018年5月、この女性はE型肝炎と診断され、血清サンプルを調査した結果、1例目の症例とウイルス株が一致した。1例目の症例と同様に、この女性が感染した株もラットに由来すると思われる。	1	2
<その他のウイルス>				
ヒトT細胞リンパ親和性ウイルス1型感染、ヒトT細胞リンパ親和性ウイルス2型感染	FDAホームページ. https://www.fda.gov/downloads/BiologicsBloodVaccines/GuidanceComplianceRegulatoryInformation/Guidances/Blood/UCM621245.pdf/2018/09/24	業界向けガイダンス(案)「ヒトT細胞リンパ親和性ウイルス1型および2型(抗HTLV-1/II)抗体の陽性反応より保留された血液ドナーの再適格性確認に関する勧告事項」に関して報告された。HTLV陽性により献血延期となったドナーに対し、6か月経過後の献血の可否を判断するための評価基準が記載されている。	2	9
ウイルス感染	European Centre for Disease Prevention and Control Rapid risk assessment. 2018/03/26	2018年3月7日、ドイツはボルナ病ウイルス(BoDV-1)感染に起因するヒトの急性脳炎又は脳症4例を報告した。これらのうち3例は同一のドナーからの固形臓器移植者のクラスターに属しており、そのうち2例は死亡した。ドイツでBoDV-1による脳炎の追加症例1例が判明し、この症例も死亡した。臓器移植を介したBoDV-1感染の可能性が報告されたのは本件が初めてである。シロハラジネズミがBoDV-1の病原体保有動物とされている。	3	19
ウイルス感染	Emerg Infect Dis. 24(2018)1087-1090	中国において、仮性狂犬病ウイルスによる初めてのヒト感染例1例が確認された。	4	26
ウイルス感染	Clin Infect Dis. Ciy485	米国において、新規オルソニヤウイルス(Keystoneウイルス)による初めてのヒト感染例1例が確認された。	5	31
ウエストナイルウイルス感染	Euro Surveill. 23(2018)	欧州におけるウエストナイル熱の症例報告について、2014年から2017年においては、毎年第25週から第31週の間に報告された症例数は5~25例であったが、2018年は当該期間にすでに168例のウエストナイル熱症例が報告されている。過去2年のウエストナイル熱の初例報告は第28週以降であったが、2018年はギリシャから第26週に初例報告があった。環境変化などの調査の結果、異常な気温や降水量などの特定の環境因子がウエストナイル熱伝播の予測因子になり得ることが示唆された。	6	36
東部ウマ脳炎	Clin Infect Dis.ciy923	固形臓器移植を介した東部ウマ脳炎ウイルス(EEEV)感染症の初めての伝播が米国で報告された。心臓、肝臓及び肺のレシピエント3例は、移植後脳炎を発症し、全例にEEEV感染のエビデンスがあった。レトロスペクティブな調査で、ドナーの血清中にEEEV RNAが検出された。	7	43
鳥インフルエンザ	WHOホームページ. http://www.who.int/entnity/influenza/vaccines/virus/201802_zoonotic_vaccinevirusupdate.pdf?ua=1	中国江蘇省で、ヒトの鳥インフルエンザA(H7N4)ウイルス感染症例が初めて確認された。患者は68歳の女性で、2018年1月1日に重度の肺炎で入院し、2018年1月22日に退院した。症状を発現する前に生きている家禽と接触していた。遺伝的配列決定により、患者から同定されたウイルスは現在中国で流行しているインフルエンザA(H7N9)ウイルスと遺伝的に異なることが示された。さらなるヒトの症例が検出される可能性はあるが、現在のエビデンスによれば、インフルエンザA(H7N4)ウイルスはヒトにおいて持続的な感染の能力を持たないことが示唆されている。	8	46
<その他>				
細菌感染	CDC MMWR. 67(2018) 962-963	2017年7月、65歳の女性1例が、左下腿の約10 cmの壊死を発現した。女性は救急外来を初めて受診してから約36時間後に敗血症性ショックと多臓器不全を発現し、入院してから2日後に死亡した。女性の既往歴には多発性骨髄腫とアミロイドーシスがあり、免疫抑制剤による治療を受けていた。治療開始前に採取した血液培養から <i>Vibrio anguillarum</i> (<i>V. anguillarum</i>) を特定した。ヒト疾患に関連した <i>V. anguillarum</i> が初めて報告された事例である。	9	57
真菌感染	Emerg Infect Dis. 24(2018)758-761	北米において、新規病原性二形性真菌 <i>Emergomycetes canadensis</i> による初めてのヒト感染例4例が確認された。	10	62
レジオネラ感染	Int J Infect Dis. 69(2018)26-28	米国において、新規レジオネラ菌 <i>Legionella indianapolisensis</i> による初めてのヒト感染例1例が確認された。	11	68
ブルセラ症	IASR. 39(2018)123-124	日本において、新規ブルセラ菌属による感染症例が報告された。患者は40歳代女性で、2018年1月末から38℃の発熱を認め、近医を受診し血液検査で貧血が指摘されたが、その他の異常は認められなかった。解熱薬が処方され、数日で症状の改善がみられたが、微熱は継続していた。症状の増悪及び寛解を繰り返していたが、2月下旬から再度38℃台の発熱を認め、救急外来を受診した。熱源精査が行われたが、明らかな熱源は認められなかった。総合内科を受診し、両膝関節痛があることから膠原病が疑われ、解熱剤が処方された。初診3日後に血液培養の好気ボトルからグラム陰性桿菌が検出された。初診から10日後に入院となった。グラム陰性桿菌感染症に対して、セフトラジム水和物の投与を開始した。入院8日目に分離菌の16S rRNA解析にて <i>Brucella sp.</i> と判定された。	12	72

大腸菌感染	Transfusion. 58(2018)1940–1950	フランスにおいて、血小板輸血による輸血感染症の原因となるタイプの <i>Escherichia coli</i> が極めて特徴的な形質を有すると報告された。	13	77
梅毒	CDCホームページ. https://www.cdc.gov/media/releases/2018/p0925-newborn-syphilis-cases.html /2018/9/25	米国疾病管理予防センターにより発表された性感染症 (STDs) サーベイランスの年次報告によると、先天梅毒の報告症例が、2013年の362例から2017年は918例と急増し、20年間で最も高い症例数を記録した。症例は37の州で報告された。急激な症例数増加は妊娠可能年齢の女性における梅毒の増加と同様であり、STDs全体での全国的な増加を上回っている。当該データは、感染リスクの高い女性での初診時の梅毒検査及びフォローアップ検査を含む、妊娠早期ケアを全ての妊娠女性が受ける必要性を示唆している。	14	89
線虫症	Am J Trop Med Hyg. 98(2018)1171–1174	米国において、ウシ眼寄生虫である <i>Thelazia gulosa</i> による初めてのヒト感染例1例が報告された。	15	93
スピロヘータ感染	Emerg Infect Dis. 24(2018)1377–1379	本邦で、 <i>Streptobacillus notomysis</i> (<i>S. notomysis</i>) 感染により鼠咬症を発症した症例が報告された。患者は94歳女性。発熱、全身倦怠感、食欲不振及び両側膝関節痛のため来院した。両膝に腫脹が認められたが、発赤や動物咬傷痕は認められなかった。患者の両膝関節穿刺液の培養を行ったところ、グラム陰性桿菌を検出し、 <i>Streptobacillus moliniiformis</i> (<i>S. moliniiformis</i>) 感染と診断された。抗生物質投与を行うも発熱及び膝関節痛は治まらず、肺炎を発症し、入院56日目に呼吸器不全のため死亡した。検出された菌の遺伝子配列から、原因菌は <i>S. moliniiformis</i> ではなく、 <i>S. notomysis</i> であることが確認された。患者宅で捕獲されたネズミの口腔スワブ検体からも <i>S. notomysis</i> が検出され、患者は同菌を保有するネズミから感染したと考えられる。	16	102
アメリカ・トリパノソーマ症	Am J Trop Med Hyg. 99(2018)723–728	ペルーのアマゾン熱帯雨林で、コウモリからヒトにトリパノソーマ類が伝播する森林型伝播サイクルの存在が示唆された。	17	106
クロイツフェルト・ヤコブ病	Sci Transl Med. 9(2017)	孤発性クロイツフェルト・ヤコブ病 (sCJD) 患者由来のプリオン播種活性及び感染力を調査した。2例の患者のPrPSc皮膚検体及び38例の患者の剖検又は生検皮膚試料を分析した。ウエスタンブロッティングにより、sCJD患者5例中1例及び変異型クロイツフェルト・ヤコブ病患者2例中1例の真皮にPrPScを認めた。しかし、より高感度なRT-QuICは、クロイツフェルト・ヤコブ病で死亡したすべての患者の皮膚におけるプリオン播種活性を検出した。この研究は、sCJD患者の皮膚にプリオン播種活性と感染力の両方が含まれていることを示唆しており、皮膚を介した医源性sCJD伝染の可能性が懸念される。	18	113
異型クロイツフェルト・ヤコブ病	Nat Commun. 8(2017)	食品を通じて牛海綿状脳症 (BSE) への暴露経験を有するが、プリオン病を発症していない(異常プリオンタンパク質が全く検出されていない)ドナーからの輸血が原因で、海綿状脳症、ミエロパチー等の神経障害が発症する可能性が示唆された。	19	137

感染症定期報告（個別症例報告概要）

○ 外国症例報告一覧

平成 3 1 年 2 月 2 0 日
（平成 3 0 年 1 0 月～平成 3 0 年 1 2 月受理分）

個別症例報告のまとめ方について

個別症例報告が添付されているもののうち、個別症例報告の重複を除いたものを一覧表の後に添付した（国内症例については、別の資料において集積報告を行っているため、添付していない）。

外国症例報告一覧（平成 30 年 10 月-12 月）

番号	感染症の種類		発現国	性別	年齢	発現時期	転帰	報告の種類	製品の別	備考
	器官別大分類	基本語								
1	感染症および寄生虫症	C 型肝炎	ドイツ	女性	63	2018/5/13	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/22 識別番号:3-18500003
2	感染症および寄生虫症	C 型肝炎	ドイツ	男性	33	2018/1/1	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/16 識別番号:3-18500005
3	感染症および寄生虫症	B 型肝炎	ドイツ	男性	61	2017/11/27	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/5/16 識別番号:3-17500010
4	感染症および寄生虫症	HIV 感染	ドイツ	男性	61	2017/11/27	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/5/16 識別番号:3-17500010

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
2018/9/28	180579	CSL ベーリング（株）	人血液凝固因子第ⅩⅢ因子*	人血液凝固因子第ⅩⅢ因子	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子**				
2018/10/1	180581	CSL ベーリング（株）	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子**	アプロチニン液	ウシ肺	ウルグアイ、ニュージーランド	有効成分
2018/10/5	180607	CSL ベーリング（株）	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子**	フィブリノゲン	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			フィブリノゲン配合剤（２）***				
2018/10/5	180608	CSL ベーリング（株）	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子**	トロンビン末	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	有効成分
			フィブリノゲン配合剤（２）***				
2018/10/5	180609	CSL ベーリング（株）	フィブリノゲン加第ⅩⅢ因子**	アンチトロンビンⅢ	ヒト血液	米国、ドイツ、オーストリア	製造工程
			フィブリノゲン配合剤（２）***			米国	添加物
			乾燥濃縮人プロトロンビン複合体****				
			乾燥濃縮人プロトロンビン複合体*****				

*フィブリノゲン P 静注用 **ベリプラスト P コンビセット組織接着用 ***タコシル組織接着用シート ****ケイセントラ静注用 500 *****ケイセントラ静注用 1000

番号	感染症の種類		発現国	性別	年齢	発現時期	転帰	報告の種類	製品の別	備考
	器官別大分類	基本語								
5	感染症および寄生虫症	HIV 感染	米国	男性	10	不明	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/6 識別番号:3-18000011
6	感染症および寄生虫症	後天性免疫不全症候群	米国	男性	10	不明	死亡	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/6 識別番号:3-18000011
7	感染症および寄生虫症	製品を介する感染因子伝播の疑い	米国	男性	10	不明	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/6 識別番号:3-18000011

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
2018/10/23	180672	バイエル薬品（株）	オクトコグ アルファ（遺伝子組換え） ¹	加熱人血漿たん白	ヒト血液	米国	製造工程
			オクトコグ アルファ（遺伝子組換え） ²				
			オクトコグ アルファ（遺伝子組換え） ³				
			オクトコグ アルファ（遺伝子組換え） ⁴				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ⁵				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ⁶				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ⁷				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ⁸				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ⁹				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ¹⁰				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ¹¹				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ¹²				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ¹³				
			オクトコグ ベータ（遺伝子組換え） ¹⁴				

1 コージネイト FS バイオセット注 250 2 コージネイト FS バイオセット注 500 3 コージネイト FS バイオセット注 1000 4 コージネイト FS バイオセット注 2000 5 コバルトトリイ 静注用 250 6 コバルトトリイ 静注用 500
7 コバルトトリイ 静注用 1000 8 コバルトトリイ 静注用 2000 9 コバルトトリイ 静注用 3000 10 コバルトトリイ 静注用キット 250 11 コバルトトリイ 静注用キット 500 12 コバルトトリイ 静注用キット 1000
13 コバルトトリイ 静注用キット 2000 14 コバルトトリイ 静注用キット 3000

番号	感染症の種類		発現国	性別	年齢	発現時期	転帰	報告の種類	製品の別	備考
	器官別大分類	基本語								
8	感染症および寄生虫症	HIV 感染	米国	男性	10	不明	不明	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/6 識別番号:3-18000011
9	感染症および寄生虫症	後天性免疫不全症候群	米国	男性	10	不明	死亡	自発報告	外国製品	報告日:2018/8/6 識別番号:3-18000011

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
2018/10/23	180675	CSL ベーリング（株）	乾燥 pH4 処理人免疫グロブリン*	人免疫グロブリン G	ヒト血液	ドイツ	有効成分
			pH4 処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）**			ドイツ、オーストリア、ポーランド、米国、スイス	
			pH4 処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）***				
			pH4 処理酸性人免疫グロブリン（皮下注射）****				

*サングロボール点滴静注用 2.5g **ハイゼントラ 20%皮下注 1g/5mL ***ハイゼントラ 20%皮下注 2g/10mL ****ハイゼントラ 20%皮下注 4g/20mL

番号	感染症の種類		発現国	性別	年齢	発現時期	転帰	報告の種類	製品の別	備考
	器官別大分類	基本語								
10	感染症および寄生虫症	B 型肝炎	アメリカ	女性	72	2017/9/6	未回復	自発報告	外国製品	報告日:2018/7/26 識別番号:3-18000007

受理日	番号	報告者名	一般名	生物由来成分名	原材料名	原産国	含有区分
2018/12/13	180791	シャイアー・ジャパン (株)	乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン ¹	人血清アルブミン	人血漿	米国	添加物
			乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン ²				
	180792		乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン ¹	人免疫グロブリン G			有効成分
			乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン ²				

1 ガンマガード静注用2.5g 2 ガンマガード静注用5g